

クロマツ（群）

41

早苗保育園 桜上水 3-18



現在の緑丘中学校や早苗保育園の辺りには、上北沢村（現在のの上北沢や桜上水）の名主を代々務めた鈴木家が屋敷を構えていました。江戸時代、鈴木家は江戸城に植木職人として出入りして、こんな逸話が残っています。

鈴木宗保が 15、6 歳の頃（寛永 5（1628）年頃）、「江戸城御囲い松」の松の苗木を納入する命が宗保の父に下されました。納入の直前になって父の体調が悪くなってしまったため、宗保が代わりに江戸城まで苗木を運搬しました。しかし、城門を固める役人は子どもの宗保を通してくれません。皆困り果てていると、宗保は足早に町に出て前髪を剃り落としてきました。当時前髪を剃ることは大人の証拠で、宗保の機転に関心した役人は入門を許し、宗保は無事に松の苗木を納入することができました。

早苗保育園にあるクロマツは「江戸城御囲い松」の兄弟松で、樹齢約 390 年といわれています。枝ぶりのよい歴史を感じさせるクロマツは、地域風景資産にも選ばれています。



神社仏閣にある木

歴史とともに地域に残る木を紹介します。



ボダイジュ

88

深沢神社 深沢 5-11

インドボダイジュはその下でお釈迦様が悟りを開いたことで有名な木です。中国ではインドボダイジュが育ちづらいため、葉の形が似たこのボダイジュが寺院に植えられました。日本でもこの様な経緯からお寺に植えられることが多く、神社に植えられているのは珍しいことです。

高さ 12.7mでボダイジュとしては大きな木です。

タラヨウ

78

慈眼寺 瀬田 4-10

卵型に樹形が整えられた樹勢のよい木です。タラヨウには雌雄がありますが、この木は雌の木で 11 月頃に赤い実がなります。葉の裏を細い棒でひっかくと、黒く変色して文字を書くことができます。インドで葉にお経を書いた多羅樹（ヤシ科のウチワヤシ）に例えて、多羅葉という名が付いたそうです。「葉書」の語源という説もあり、「郵便局の木」にも定められています。

※木が傷む原因となるため、枝についた葉には書かないようにしましょう。



イチョウ

天1

浄真寺 奥沢 7-41



イチョウは長寿で各地に大木や老木があり、天然記念物に指定されているものも多い木です。中国原産とされますが、いつ日本に伝わったのかは不明です。

このイチョウも大きく立派で、都の天然記念物に指定されています。秋には銀杏もたくさん実ります。



コウヤマキ

57

西澄寺 下馬 2-11

高野山真言宗の総本山である高野山に多いことが木の名前の由来です。20mを超す大木で、これほど大きなコウヤマキは貴重です。

この木の近くには江戸時代末期に建築されたと推定されている武家屋敷門があり、都の有形文化財に指定されています。



武家屋敷門



名木のある風景

地域の美しい風景の中にある名木を紹介します。

モウソウチク（群）

94

勝光院 桜 1-26



「せたがや百景」にも選ばれた、管理の行き届いた美しい竹林です。まとまった面積の竹林は都市化した現在の区内では貴重です。モウソウチクは中国原産でタケノコを採ったり竹材として使われてきました。



アラカシ

12

北澤八幡神社 代沢 3-25



区内では見ることの少ない木で、幹周り 3mを超える大木に育っています。木の隣には富士塚があり、江戸時代に噴火した富士山の溶岩が使われているそうです。晴れた日には富士塚のあたりから富士山を見ることができます。



モミジバフウ(並木)

98

区立赤松公園 赤堤 4-10

世田谷線に面した通り沿いと公園内に植栽されています。北米中南部から中米原産でモミジに似た葉を付けます。秋には世田谷線の車窓からも紅葉が楽しめます。



カヤ

28

個人宅 奥沢 8-34

高さ 24.1mの大きなカヤで、九品仏駅のホームからもよく見えます。樹形が美しく、健康状態もよい木で、青空によく映えます。カヤは雌雄のある木で、この木は雌の木です。



クロマツ(並木)

42

浄真寺 奥沢 7-41



境内の南側の沿道に並木状に連なっています。境内にある旧奥沢城の土塁跡とともに、江戸の街道風景を彷彿させるものとして、区の地域風景資産にも選ばれています。



クロマツ（群）

39

区立若林公園 若林 4-34



公園の奥に、列植されたクロマツがあります。幹の太さは細いものから太いものまでありますが、高さ 20m を超すクロマツが多く、本数も名木のクロマツ（群）の中で最大です。園内にはスダジイ（P.73）もあります。



クロマツ

登天1

駒留八幡神社 上馬 5-35



まっすぐに伸びた雄大なクロマツで、高さは 28.1m あります。大正天皇の御大典記念樹で大正 4（1915）年 11 月 10 日に駒沢村青年会により植樹されたものです。植栽されてから 100 年以上経っていますが、樹勢のよい見事なクロマツです。

駒留の名前の由来は、鎌倉時代後期にこの辺りの地頭だった北条左近太郎入道成願が、乗った馬の留まったこの場所に八幡宮の社殿を造ったためと言われています。

駒留八幡神社はせたがや百景にも選ばれています。この木は、世田谷区登録天然記念物に指定されています。



アカマツ

5

個人宅 等々力 3-24

きれいに仕立てられ、樹形や幹が美しいアカマツです。道より 1.2mほど地面が高いお庭に植えられているため、遠くからよく見えます。



アカマツ

6

区立桜新町一丁目緑地 桜新町 1-31

赤い幹が美しい樹形の整ったアカマツが3本道沿いに並んでいます。緑地の奥の方にあるもう1本は少し小さめです。緑地内にはサザエさん一家の銅像が並び、通称「サザエさん公園」と呼ばれています。隣にはサザエさんの作者、長谷川町子美術館があります。

